



前章で行った分析の結果に基づき、市町別合計特殊出生率の年次推移、合計特殊出生率に影響を及ぼす転入・転出数、県出生率との差が生じている要因、合計特殊出生率に影響を及ぼす新しい5つの地域力を、市町別にグラフ等を用いて見える化した。

また、前章の分析により合計特殊出生率の要因の全てが説明できているわけではなく、市町の地域特性に応じたきめ細かな施策が展開されていることが合計特殊出生率の向上に寄与していると考えられるため、市町の協力を得て、少子化“突破”に向けた特徴的な取組、わがまちのアピールポイントを記載した。併せて、データで示すことができない少子化対策への意欲や考え方を表すキャッチフレーズ、首長からひとことを寄稿いただいた。

なお、市町別分析チャートは、静岡県の新ビジョン「富国有徳の美しい“ふじのくに”の人づくり・富づくり」及び美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生「長期人口ビジョン」「総合戦略」における地域区分(4地域)の順とした。

沼津市、三島市及び函南町は、伊豆半島地域と東部地域に重複して区分されているため、市町名は、伊豆半島地域、東部地域の双方の表紙に掲載しているが、分析チャートは、東部地域のみに掲載した。

【市町別分析チャートを使用する上での留意事項】

- ① 市町の地域力を算出した基礎データは、分析に要する時間の都合上、令和2年4月時点で公表されているデータを使用しています。このため、本書の公表時点における最新データと異なっている場合があります。
- ② また、市町別分析チャートで示すデータは、過去のある一時点のデータを用いた分析結果であり、本書の公表時点における市町の現状を示しているものではありません。
- ③ したがって、市町において現在実施している施策を評価した結果ではないことに、十分留意してください。

※ 分析に使用したデータの詳細は、巻末の資料編を参照してください

- ・合計特殊出生率の経年推移 p.103
- ・合計特殊出生率と人口の社会増減の分析 pp.104-107
- ・合計特殊出生率に影響を及ぼす新しい「5つの地域力」の分析 pp.115-119

市町別分析チャートの見方

市町の基礎データ

合計特殊出生率 (H25 ~ H29)、人口、世帯数、面積を記載している。

(出典)

合計特殊出生率「平成 25 年～ 29 年人口動態保健所・市区町村別統計」、人口・世帯数「平成 27 年国勢調査」、総面積「令和 2 年全国都道府県市区町村別面積調」

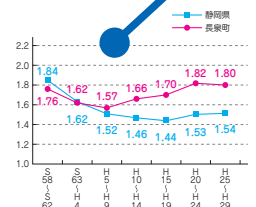
長泉町

Nagaizumi Town

合計特殊出生率 [H25~H29]

1.80

●人口 43,601人
●世帯数 18,308世帯
●総面積 26.63㎢
※令和2年1月1日現在

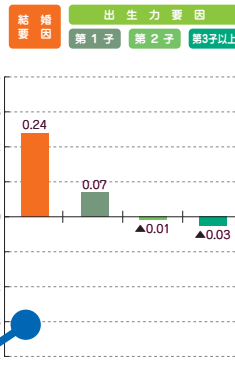


1 合計特殊出生率に影響を及ぼす転入・転出数

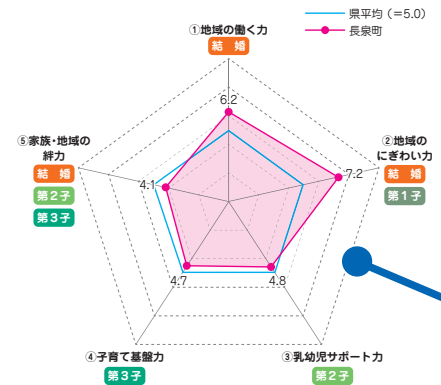
【対象】20～34歳 【期間】H25～H29年



2 合計特殊出生率の要因分解



3 合計特殊出生率に影響を及ぼす新しい5つの地域力



「要因分解」の結果と「5つの地域力」との関係

結婚要因
「⑤家族・地域の絆力」は県平均を下回ったものの、「①地域の働く力」「②地域のにぎわい力」は県平均を上回っており、+0.24につながったと考えられる。

第1子要因
「②地域のにぎわい力」は県平均を大きく上回っており、+0.07につながったと考えられる。

若者の転入・転出数が分かる！

合計特殊出生率に影響を及ぼす可能性がある20歳～34歳の人口移動の状況 (H25～H29) をグラフ化している。

なお、本県からの移動者数の多い上位3都県 (東京都・神奈川県・愛知県)、その他県外、県内他市町の順に記載している。

【第2章】 pp. 7～9

【資料編】 pp. 106～107

合計特殊出生率が高い (低い) 要因が分かる！

合計特殊出生率 (H25～H29) の県との差を結婚要因及び出生力要因 (第1子・第2子・第3子以上の和) に分解している。

棒グラフが上に伸びている場合は、その数値分だけ合計特殊出生率を押し上げている (下に伸びている場合は、押し下げている)。

各要因の合計は、合計特殊出生率 (厚労省公表値) と県出生率との差に一致する。

なお、小数点以下第3位を四捨五入した数値を表章しているため、計が一致しない場合がある。

【第2章】 p.12

【資料編】 p.115

■結婚要因

結婚している人の割合が、合計特殊出生率に与える影響の大きさ

■出生力要因

結婚している人のうち子どもを生んだ人の割合が合計特殊出生率に与える影響の大きさ

■第1子要因

結婚している人のうち第1子を生んだ人の割合が合計特殊出生率に与える影響の大きさ

■第2子要因

結婚している人のうち第2子を生んだ人の割合が合計特殊出生率に与える影響の大きさ

■第3子以上要因

結婚している人のうち第3子以上を生んだ人の割合が合計特殊出生率に与える影響の大きさ

合計特殊出生率の変化が分かる！

昭和 58 年～ 62 年以降の合計特殊出生率をグラフ化している。

(注) 厚生労働省「人口動態統計」、総務省「国勢調査」を用いて、現 35 市町別に静岡県が独自に計算

【資料編】 p.103

4 少子化“突破”に向けた特徴的な取組

長泉町定住のための新幹線通学支援補助金

《目的》

JR 三島駅から新幹線（原則鉄道営業キロ 100km 以上）を利用して通学する学生に、新幹線通学定期券購入費用の一部を補助し、長泉町で育った若者が大学進学等をきっかけに首都圏等に転出することなく、町の未来を担う人材として卒業後も定住してもらう。

《概要》

新幹線通学者に対し、1 か月 2 万円（※新横浜駅の方は 1 か月 1 万 7 千円）の補助金を交付する。また、学生には町の親しみや理解を深めるとともに学生視点からまちづくりに対する提案をもらうため、町が主催する事業への参画を補助要件としている。

- 実績（前期分交付決定者数）
- 平成 30 年度：88 名
- 令和元年度：111 名



町の事業に参加する学生

他の自治体にも参考となる取組を紹介

少子化を“突破”するために、他の自治体にも参考となる特徴的な取組を紹介している。子育て支援のみならず、合計特殊出生率に影響を及ぼすと考えられる移住・定住施策、教育施策など、多方面にわたる事業等を掲載している。

是非、新規に少子化対策事業を立案する際の参考としていただきたい。

5 わがまちのアピールポイント

●子育て支援センターと児童館の機能を併せ持つ こども交流センター パルながいずみ

民間商業施設に設置され、子どもたちの遊びや体験の場、保護者の交流の場を提供。乳幼児向け一時保育事業、育児相談、子育てコンシェルジュによる子育て情報の発信等を実施しており、町内外の多くの方が利用。

●子どもを取り巻く問題の相談窓口を一本化する「子ども・子育て総合相談窓口」の開設

お父さんのこと、子育てのことについて相談したいけれど「どこに行ってもいいかわからない。」という声に応えて、子ども・子育てのための総合窓口を開設。

●潜在保育士を公立保育所等に活用する「おたすけ人材バンク」制度の実施

潜在保育士に対して、復帰支援のための研修会を開催。研修等で人手が必要なときに、あらかじめ登録した保育士、幼稚園教諭の方に 1 日数時間単位でお手伝いを依頼。

アピールポイントを記載

各市町の地域特性や、自慢できるポイントなどを記載している。

6 首長からひとこと

笑顔があふれるまち ながいずみ

～子どもが輝き 子育てが楽しい 心ふれあうまちをめざして～



長泉町は、これまで重要施策の一つとして、「子どもを生み育てやすいまち」を掲げ、子育て支援策の充実に向けて積極的に力を入れてまいりました。今後、少子化が一層進むと予想される中、町の活力や発展を支えていくためにも、結婚・妊娠・出産・育児の切れ目のない子育て支援の充実、質の高い保育・幼児教育の提供を図り、これからの長泉町を支える子どもたちの成長を地域とともに支え、未来に夢と希望の持てるまちを目指します。

長泉町長 池田 修

首長からの寄稿

少子化対策への意欲や考え方が表れるキャッチフレーズ、市長・町長からのメッセージを寄稿いただいた。

「要因分解」の結果と「5つの地域力」との関係（結婚、第1子、第2子、第3子以上）を解説

合計特殊出生率への影響が大きい要因を取り上げ、地域力との関係について解説を記載した。

5つの地域力が分かる！

合計特殊出生率に影響を及ぼす可能性がある 23 本の指標を①～⑤の力に集約し、レーダーチャートで示している。県平均を 5 とし、0～10 の数値で表している。なお、各地域力が県平均よりも高いか低いかだけでなく、「2 合計特殊出生率の要因分解」の結果と見比べながら、課題を検討する必要がある。

【第 2 章】 pp. 14～15

【資料編】 pp. 115～119